

ご修理のときは

修理・お手入れ・お取扱いのご相談は、まずお買い求めの販売店にご依頼ください。
転居や贈答品などでお困りの場合は、商品名・品番をご確認のうえ、お近くの営業拠点へお問い合わせください。

お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号 (NO.) などを下欄にメモしておく、修理を依頼されるとき便利です。

お買い上げ日	年	月	日	製造番号 (NO.)
販売店 (TEL)				

全国営業拠点

お客様相談センター ※土・日・祝日・弊社休業日を除く 9:00~17:00

●フリーダイヤル
☎ 0120-20-8822

※携帯電話からはご利用になれません。
携帯電話からはお近くの営業拠点にお問い合わせください。
※長くお待たせする場合があります。
お急ぎのときは、お近くの営業拠点に直接お問い合わせください。

●北海道支店 TEL (011) 786-5122	●北陸支店 TEL (076) 263-4311
●東北支店 TEL (022) 288-8676	●関西支店 TEL (06) 7167-3644
●東京支店 TEL (03) 5753-7703	●中国支店 TEL (082) 504-8282
●関東支店 TEL (03) 6374-5687	●四国支店 TEL (087) 863-6761
●中部支店 TEL (052) 533-0231	●九州支店 TEL (092) 621-5772

■営業所の移転等により、上記電話番号に連絡がとれない場合は、下記のアドレスにアクセスすることで、最新の全国営業拠点をご確認いただけます。

<https://www.hikoki-powertools.jp/relation/sales.html>

WEBに
アクセス

バーコードリーダー機能付きの
携帯端末より読み取ることで、
最新の全国営業拠点をご確認
いただけます。



工機ホールディングス株式会社

〒108-6018 東京都港区港南2丁目15番1号 (品川インターシティA棟)
営業本部 TEL (03) 5783-0626 (代)

電動工具ホームページ — <https://www.hikoki-powertools.jp>

部品コード C99744701 201 G

HiKOKI

取扱説明書

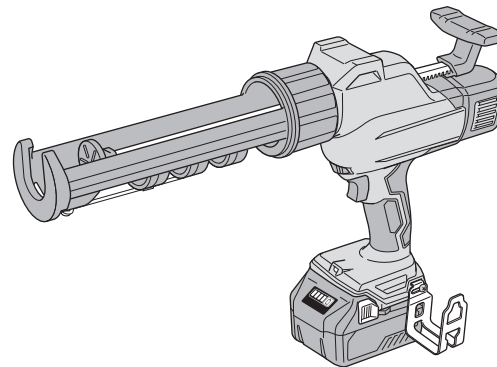
用途

- ダクト/水回り/外壁などの施工
- 外壁やタイルの目地埋
- 気密性・防水性の補強
- 板ガラスの連結・接合、水槽の補強

コードレスコーキングガン

18V AC 18DA

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、
ありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、
正しく安全にお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られる所に
大切に保管してご利用ください。



はじめに

コードレス工具の安全上のご注意	1
本製品の使用上のご注意	4
リチウムイオン電池の使用上のご注意	6
各部の名称	8
仕様	8
標準付属品	9
別売部品	9

使い方

蓄電池の取付け・取りはずし	10
スイッチについて	10
押し出し速度調節ダイヤルについて	10
LEDライトの使い方	11
警告シグナルについて	11
フックの使い方	12
作業する	13
別売部品の取付け方	15
材料の種類と使い方	17

その他

保守・点検	19
ご修理のときは	裏表紙

本製品は日本国内用のため、日本国外で販売または使用することはできません。日本国外で使用した場合は、仕様上の性能を発揮できない恐れがあります。日本国外では、修理または保証を受けられません。

This product may be used only in Japan and should not be sold or used in any other country. Otherwise, product may not perform as intended. No authorized service or warranty is available outside of Japan.

⚠警告、⚠注意、注 の意味について

⚠警告 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠注意 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

注 : 製品のすえ付け、操作、メンテナンスに関する重要なお注意。

なお、**⚠注意**に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

コードレス工具の安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- 使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

⚠警告

- ① **専用の充電器や蓄電池を使用してください。**
弊社カタログに記載されている指定の充電器や蓄電池を使用してください。指定以外の蓄電池を使用すると、破裂して傷害や損害を及ぼす恐れがあります。
- ② **蓄電池の端子間を短絡（ショート）させないでください。**
釘袋などに入れると、短絡（ショート）して、発煙・発火・破裂などの恐れがあります。
- ③ **蓄電池の内部に、水のような導電性の液体を入れないでください。**
発熱・発火・破裂などの恐れがあります。
- ④ **作業場や保管場所の周囲状況も考慮してください。**
 - 工具本体や蓄電池は、雨の中や湿った場所で使用・放置・保管をしないでください。感電や発煙の恐れがあります。
 - 作業場は十分に明るくしてください。
暗い場所での作業は、事故の原因になります。
 - 可燃物、可燃性あるいは腐食性の液体やガスがある所での使用・充電・保管をしないでください。発火や火災の恐れがあります。
- ⑤ **保護メガネを使用してください。**
作業時は、保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
切削した物や粉じんが目や鼻に入る恐れがあります。
- ⑥ **加工する物をしっかりと固定してください。**
加工する物を固定するために、クランプや万力などを利用してください。
手で保持するより安全で、両手でコードレス工具を使用できます。
固定が不十分な場合は、加工する物が飛んで、けがの原因になります。

⚠警告

- ⑦ **次の場合は、コードレス工具のスイッチを切り、蓄電池を工具本体から取りはずしてください。**
 - 使用しない、または、準備・調整・保守・点検する場合。
 - 付属品や別売部品を取付け、交換する場合。
 - その他、危険が予想される場合。
コードレス工具が作動して、けがの原因になります。
- ⑧ **不意な始動は避けてください。**
スイッチに指を掛けて運ばないでください。
コードレス工具が作動して、けがの原因になります。
- ⑨ **指定の付属品やアタッチメントを使用してください。**
この取扱説明書、および弊社カタログに記載されている指定の付属品やアタッチメントを使用してください。事故やけがの原因になります。
- ⑩ **蓄電池を火の中に投入しないでください。**
破裂して、有害物質が出る恐れがあります。

⚠注意

- ① **作業場は、いつもきれいに保ってください。**
散らかった場所や作業台は、事故の原因になります。
- ② **子供を近づけないでください。**
 - 作業員以外、コードレス工具に触れさせないでください。けがの原因になります。
 - 作業員以外、作業場へ近づけないでください。けがの原因になります。
 - 安全に責任を負う人の監視または指示がないかぎり、補助を必要とする人が単独で使用しないでください。
- ③ **使用しない場合は、きちんと保管してください。**
 - 乾燥した場所で、子供の手が届かない所または鍵のかかる所に保管してください。事故の原因になります。
 - 工具本体や蓄電池を、温度が50℃以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内など）に保管しないでください。
蓄電池劣化の原因になり、発煙、発火の恐れがあります。
- ④ **無理して使用しないでください。**
 - 安全に能率良く作業するために、コードレス工具の能力に合った速さで作業してください。能力以上での使用は、事故の原因になります。
 - モーターがロックするような無理な使い方はしないでください。
発煙、発火の恐れがあります。
- ⑤ **作業に合ったコードレス工具を使用してください。**
 - 小形のコードレス工具やアタッチメントは、大形のコードレス工具で行う作業には使用しないでください。けがの原因になります。
 - 指定された用途以外に使用しないでください。けがの原因になります。

⚠注意

- ⑥ **きちんとした服装で作業してください。**
 - だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、着用しないでください。回転部に巻き込まれる恐れがあります。
 - 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めの付いた履物の使用をお勧めします。滑りやすい手袋や履物は、けがの原因になります。
 - 長い髪は、帽子やヘアカバーなどでおおってください。回転部に巻き込まれる恐れがあります。
- ⑦ **無理な姿勢で作業をしないでください。**

常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。転倒して、けがの原因になります。
- ⑧ **コードレス工具は、注意深く手入れをしてください。**
 - 安全に能率良く作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。損傷した刃物類を使用すると、けがの原因になります。
 - 付属品や先端工具の取付け・取りはずしは、取扱説明書に従ってください。
 - 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースが付かないようにしてください。けがの原因になります。
- ⑨ **調整キーやスパナなどは、必ず取りはずしてください。**

スイッチを入れる前に、調整に用いたキーやスパナなどの工具類が取りはずしてあることを確認してください。付けたままでは、作動時に飛び出して、けがの原因になります。
- ⑩ **油断しないで十分注意して作業をしてください。**
 - コードレス工具を使用する場合は、取扱い方法、作業の仕方、周りの状況など、十分注意して慎重に作業をしてください。軽率な行動をすると、事故やけがの原因になります。
 - 常識を働かせてください。非常識な行動をすると、事故やけがの原因になります。
 - 疲れている場合は、使用しないでください。事故やけがの原因になります。
- ⑪ **損傷した部品がないか点検してください。**
 - 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
 - 可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
 - 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
 - スイッチで始動および停止操作のできないコードレス工具は、使用しないでください。誤作動して、けがの原因になります。
- ⑫ **コードレス工具の修理は、専門店に依頼してください。**
 - サービスマン以外の方は、工具本体や蓄電池の分解・修理・改造をしないでください。発火や誤作動など、けがの原因になります。
 - コードレス工具が高温になるなど、異常に気付いたときは、点検・修理に出してください。
 - この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
 - 修理は、お買い求めの販売店に依頼してください。ご自身で修理すると、事故やけがの原因になります。

本製品の使用上のご注意

先にコードレス工具として共通の注意事項を述べましたが、コードレスコーキングガンについて、次に述べる注意事項を守ってください。

⚠警告

- ① **使用中は、両手で機体を確実に保持してください。**
- ② **ラッカー、ペイント、ベンジン、シンナー、ガソリンなどの引火物のある場所では使用しないでください。**
- ③ **誤って落としたり、衝撃が加わったりしたときは、機体などに破損や亀裂、変形がないことを点検してください。**
- ④ **使用中、機体が高温になったり、異常音、異常振動がしたりするときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店に点検・修理を依頼してください。**
- ⑤ **工具本体の端子部（蓄電池取付部）に変形が生じた場合は、使用しないでください。**

短絡（ショート）して、発煙・発火の恐れがあります。
- ⑥ **工具本体の端子部（蓄電池取付部）に、切りくずやほこりがたまらないようにしてください。**
 - 使用前に、端子部に切りくず、ほこりがたまっていないことを確認してください。
 - 作業中に、機体に付いた切りくず、ほこりが端子部に降りかからないようにしてください。
 - 使用中断時、および使用後に切りくず、ほこりが降りかかる場所に機体を放置しないでください。

短絡（ショート）して、発煙・発火の恐れがあります。

リチウムイオン電池の使用上のご注意

本製品はリチウムイオン電池を使用します。リチウムイオン電池には、寿命を長くする目的で出力を停止する保護機能が付いています。

下記①、②、③の場合、本製品を使用中にモーターが停止することがあります。これは保護機能によるものであり故障ではありません。

- ① 電池残量が少なくなるとモーターが停止します。
速やかに充電してください。
- ② 過負荷状態になるとモーターが停止する場合があります。
スイッチを切り、過負荷の原因を取り除いてください。
- ③ 蓄電池が過熱状態になるとモーターが停止する場合があります。
蓄電池の使用を中断し、工具本体より取りはずして、風通しの良い日かげなどで蓄電池を十分に冷ましてください。

再びご使用になれます。

さらに蓄電池の液漏れ、発熱・発煙・発火を未然に防ぐため、次に述べる注意事項を守ってください。

⚠️ 注意

- ① 固まったシーリング材を使用するなど、モーターがロックするような無理な使い方はしないでください。
固まったシーリング材は取り除いてください。
- ② 本機を使用中は、手を稼動部に近づけないでください。
- ③ 使用中は、軍手など巻き込まれる恐れがある手袋を着用しないでください。
- ④ 作動させたまま、機体を放置しないでください。
- ⑤ 高所作業のときは、下に人がいないことを確かめてください。
- ⑥ はしごや踏み台などの不安定な足場で作業しないでください。
- ⑦ 機体で材料をたたき、落下等の強い衝撃を加える、水にぬらすことなどをしてしないでください。
内蔵している精密部品が破損し、誤作動等をおこす原因になります。
- ⑧ LEDライトをのぞき込んで、直接ライトの光を目に当てないでください。
- ⑨ 持ち運び時の注意
 - 機体のスイッチを切り、蓄電池を工具本体から抜いてください。
 - 機体はハンドルを持って運んでください。
 - 乗り物で搬送するときは、転倒や損傷を適切に防止してください。
- ⑩ 蓄電池は確実に取付けてください。

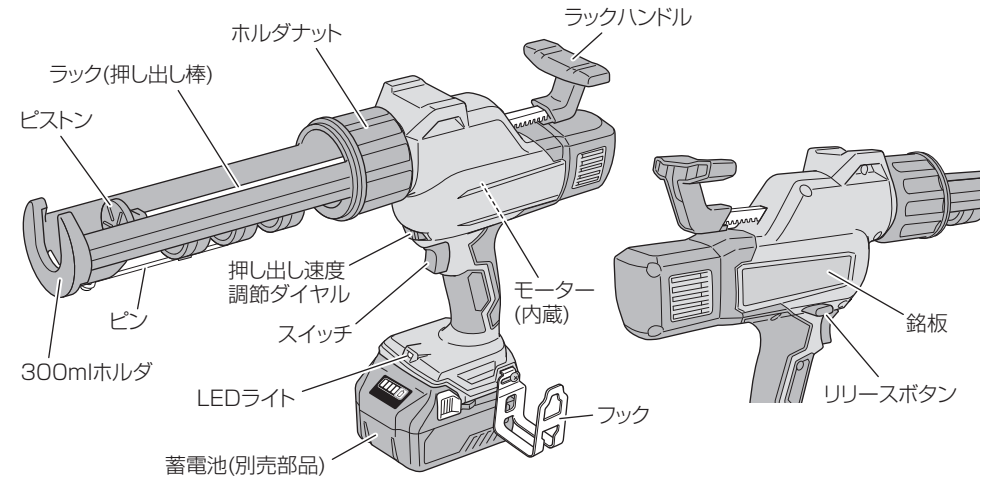
○ 騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。
ご近所に迷惑をかけないよう、規制値以下でご使用になることが必要です。
状況に応じ、しゃ音壁を設けて作業してください。

⚠️ 警告

- ① 蓄電池の端子部に、切りくずやほこりがたまらないようにしてください。
 - 使用前に、端子部に切りくず、ほこりがたまっていないことを確認してください。
 - 作業中に、機体に付いた切りくず、ほこりが端子部に降りかからないようにしてください。
 - 使用中断時、および使用後に切りくず、ほこりが降りかかる場所に機体を放置しないでください。
- ② 蓄電池の端子部に変形が生じた場合は、使用しないでください。また、外傷、変形の著しい蓄電池は使用しないでください。
- ③ 蓄電池に釘を刺す、ハンマーでたたき、踏みつける、投げつけるなど強い衝撃を与えないでください。
- ④ 蓄電池を指定機器以外の用途に使わないでください。
- ⑤ 蓄電池を電子レンジや高圧容器に入れるなど、過熱・高圧を与えないでください。
- ⑥ 蓄電池が液漏れしたり、異臭を発したりするときは直ちに火気より遠ざけてください。
- ⑦ 強い静電気の発生する場所では使用しないでください。
- ⑧ 蓄電池の使用、充電、保管時に異臭・発熱・変色・変形、その他異常に気が付いたときは、直ちに使用を中止して、お買い求めの販売店に相談してください。

各部の名称



⚠️ 注意

- ① 蓄電池が液漏れして液が目に入ったときは、こすらずにすぐ水道水などのきれいな水で十分に洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。放置すると液により目に障害を与える原因になります。
- ② 蓄電池が液漏れして液が皮膚や衣類に付着した場合は、直ちに水道水などのきれいな水で洗い流してください。皮膚がかぶれたりする原因になる恐れがあります。
- ③ 蓄電池を一般のごみと一緒に捨てないでください。
- ④ 蓄電池は子供の手の届かない所に保管してください。
- ⑤ 蓄電池の仕様表示に従って正しく使用してください。

蓄電池はリサイクルへ

蓄電池はリサイクル可能な貴重な資源です。蓄電池を廃棄する際は、リサイクルにご協力いただき、お買い求めの販売店にて持参ください。



○ 新しい蓄電池は、弊社純正品をご使用ください

弊社指定の蓄電池以外の使用や分解、改造した物（蓄電池を分解してセルなどの内蔵部品を交換した物を含みます）は、安全性や製品に関する保証はできません。

⚠️ 警告マークについて

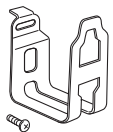



このマークのある操作・手順では、必ずスイッチを切り、蓄電池を工具本体から取りはずしてください。
蓄電池を工具本体に装着したまま準備や点検、ホルダの交換などをすると、予期できない作動を招いて事故やけがの原因になります。

仕様

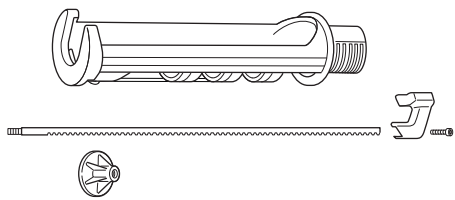
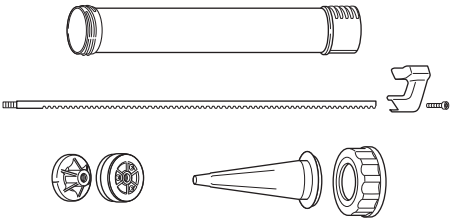
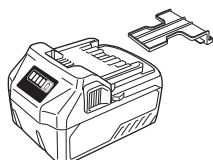
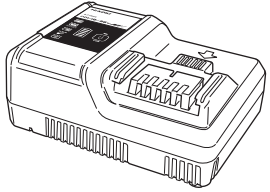
形 名	AC 18DA	
モ ー タ ー	直流モーター	
押し出し速度	0～14 mm/s	
最大押し出し力	3,000 N	
ストローク	300 ml ホルダ	216 mm
	600 ml ホルダ(別売)	340 mm
	800 ml ホルダ(別売)	
使用可能蓄電池	リチウムイオン電池	<ul style="list-style-type: none"> ● マルチボルトタイプ蓄電池 ● 18 V (BSL18xx シリーズ)
電池電圧	18 V	
寸 法 全長×全高×全幅	482×299×82 mm (300 ml ホルダ、BSL 36A18 装着時)	
質 量	2.7 kg (300 ml ホルダ、BSL 36A18 装着時)	
LED ラ イ ト	白色 LED	

標準付属品

<p>フック</p> 	<p>保護メガネ</p> 
--	--

別売部品 (別売部品は生産を打ち切ることがありますので、ご了承ください。)

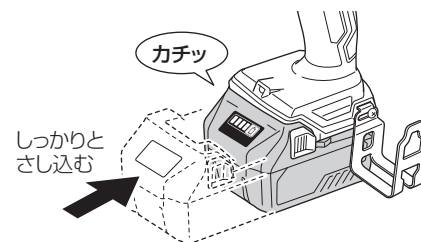
詳しくは、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

<p>800 ml ホルダセット 使用法は、P.17「材料の種類と使い方」を参照してください。</p> 	<p>600 ml ホルダセット 使用法は、P.17「材料の種類と使い方」を参照してください。</p> 
<p>蓄電池 <ul style="list-style-type: none"> マルチボルトタイプ蓄電池 18 V (BSL 18xx シリーズ) </p> 	<p>充電器 (14.4 V・18 V・マルチボルトタイプ蓄電池対応) UC 18YDL2 など各種</p> 

蓄電池の取付け・取りはずし

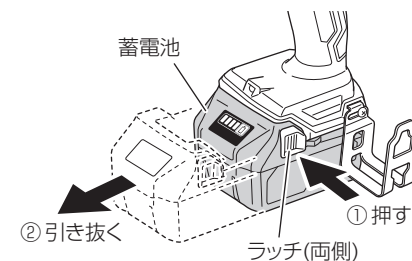
取付けるとき

「カチッ」と音がするまでしっかりとさし込んでください。



取りはずすとき

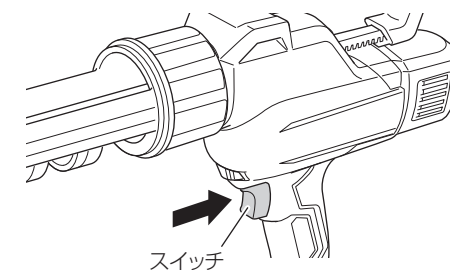
両側のラッチを押しながら、スライドさせて引き抜きます。



スイッチについて

スイッチは、引き込み具合で無段階に押し出しの速度を変えることができます。

スイッチを引くとピストンを押し出し、スイッチをはなした直後、ピストンが少しだけ逆戻りし、ノズル先端に残った材料がたれるのを防ぎます。



押し出し速度調節ダイヤルについて

押し出し速度を、調節ダイヤルで設定できます。

スイッチの引き具合と合わせて、材料の固さや気温によって最適な速さを調節してください。



ダイヤル 6	14 mm/s
ダイヤル 5	12 mm/s
ダイヤル 4	8 mm/s
ダイヤル 3	4.3 mm/s
ダイヤル 2	2.5 mm/s
ダイヤル 1	0.9 mm/s

注 ノズルの切断面が小さい場合や、シーリング材が低温のときに勢い良く押し出すと、ピストン側に漏れたり、カートリッジが破損する恐れがあります。

作業する

- ダクト/水回り/外壁などの施工
- 外壁やタイルの目地埋 ●気密性・防水性の補強
- 板ガラスの連結・接合、水槽の補強

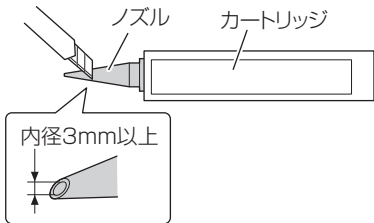
警告

- 作業中、駆動部分には触れないでください。
- 寒い場所での作業で材料が固くなっているときは、低速で動かし、少しずつ押し出してください。

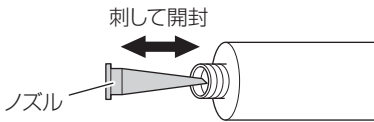
注 ノズルの切断面の内径は3mm以上にしてください。シーリング材がピストン側に漏れたり、カートリッジが破損する恐れがあります。

1 カートリッジの準備

- ノズル先端を斜めにカットしてください。



- ノズルをはずし、カットした先端を刺して、カートリッジを開封します。

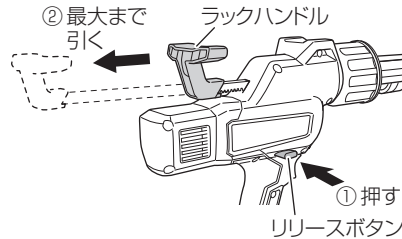


注意

- 使用前に、材料のパッケージに記載されている内容も併せて確認いただき、正しい使用方法で作業をしてください。
- 作業中は保護メガネを着用してください。

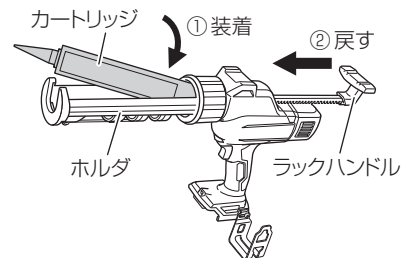
2 ラック(押し出し棒)を引く

リリースボタンを押してラックのロックをはずし、ラックハンドルを最大まで引いてください。



3 カートリッジの装着

カートリッジをホルダに装着し、カートリッジがホルダ前面にしっかり当たるようにピストンを戻します。



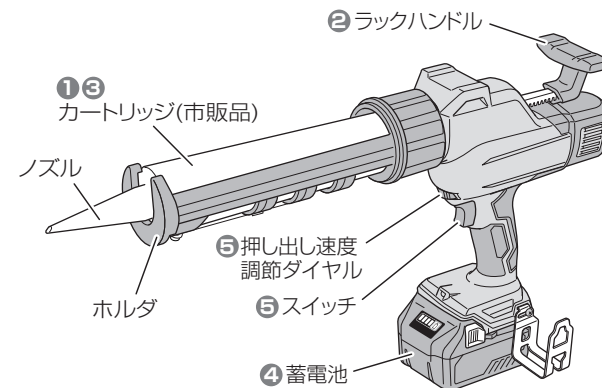
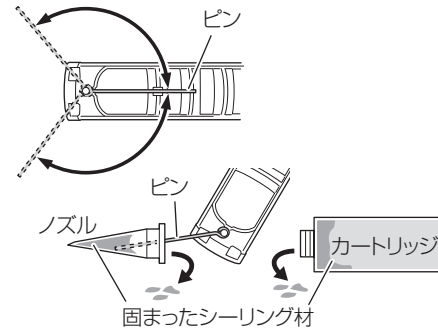
4 蓄電池を取付ける

「カチッ」と音がするまでしっかりとさし込んでください。
(P.10「蓄電池の取付け・取りはずし」参照)

カートリッジの再利用

ホルダの底に付いているピンの先を横に回して出し、ノズルやカートリッジ内にある固まったシーリング材をかき出してから、ホルダに装着します。

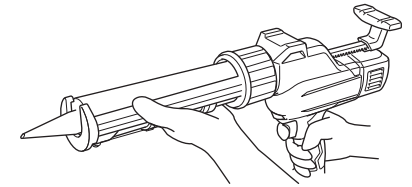
- 注**
- ピンで容器の内側を傷付けないように注意してください。
 - ピンを使用しないときは、元の位置に収納してください。



5 スイッチを入れる

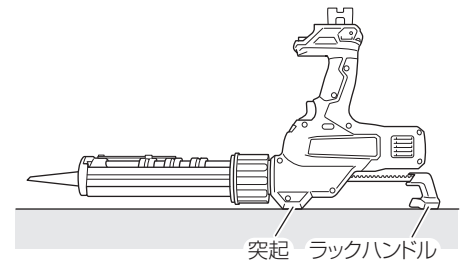
●低速から始めて材料の固さや押し出し具合を確認してください。
押し出し速度調節ダイヤルとスイッチの引き具合で、速度を調節してください。
(P.10「押し出し速度調節ダイヤルについて」参照)

- 手でホルダの底を支えてください。
- シーリング材がホルダに付着した際は、布などでふき取ってください。



作業中の仮置き

機体上部の突起と、ラックハンドルで逆さ置きが可能です。

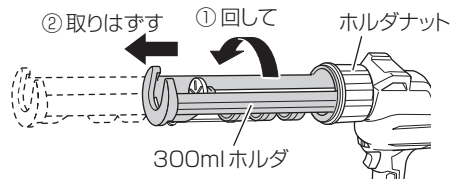


別売部品の取付け方

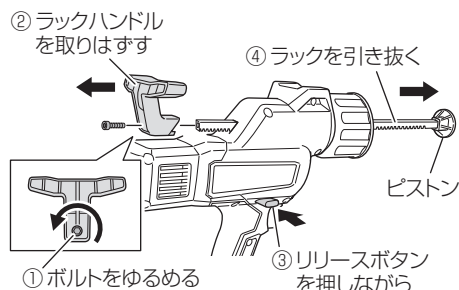
● 600 ml ホルダセット

取付け

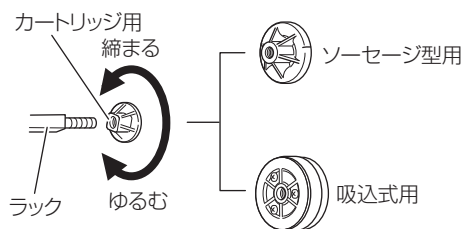
1 ホルダナットを押さえながらホルダを反時計方向に回し、機体から取りはずします。



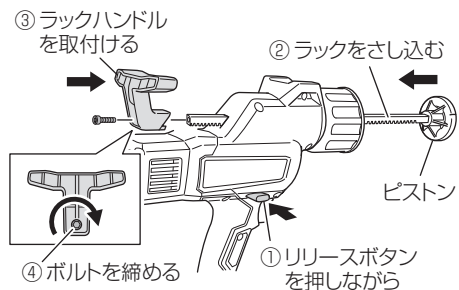
2 ラックハンドル後部のボルトをお手持ちの六角棒スパナでゆるめ、ラックハンドルを取りはずします。ラックはリリースボタンを押しながら、ピストン側から引き抜いてください。



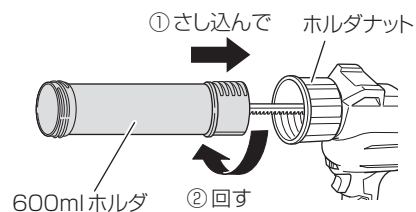
3 600 ml ホルダセットに付属するラックに、使用する材料に合うピストンを取付けます。(P.16「ピストン対応表」参照)



4 リリースボタンを押しながら、ピストンを付けたラックをピストン側から機体にさし込み、ラックハンドルを取付け、ボルトを締めます。



5 ホルダナットを押さえながら、ホルダをホルダナットに取付けます。



取りはずし

取付けの逆の手順で行ってください。

● 800 ml ホルダセット

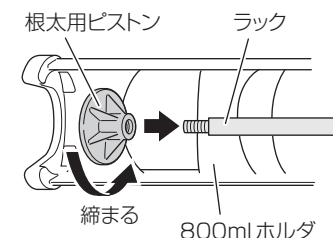
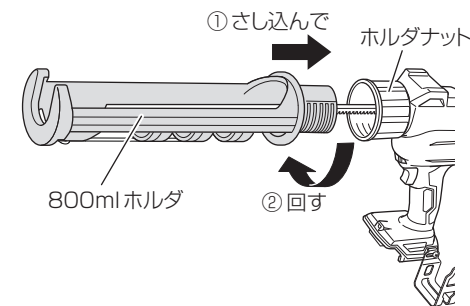
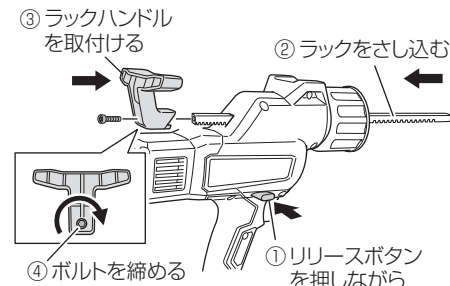
取付け

600 ml ホルダセットの取付け同様に、ホルダとラックを機体から取りはずします。(前ページの **1**、**2** 参照)

3 800 ml ホルダセットに付属するラックをリリースボタンを押しながら機体にさし込み、ラックハンドルを取付けます。

4 800 ml ホルダをホルダナットに取付けます。

5 800 ml ホルダセットに付属する根太用ピストンをラックに取付けます。



取りはずし

取付けの逆の手順で行ってください。ピストンを始めに取りはずさないと、ホルダを取りはずせません。

● ピストン対応表

ホルダ	カートリッジ式	ソーセージ型	吸込式
300 ml ホルダ	標準付属	—	—
600 ml ホルダ		ソーセージ型用 (600 ml ホルダセット付属)	吸込式用 (600 ml ホルダセット付属)
800 ml ホルダ	根太用 (800 ml ホルダセット付属)	—	—

材料の種類と使い方

使用するパッケージに適切なホルダを下表で確認してください。ホルダの取付けは、P.15「別売部品の取付け方」を参照してください。

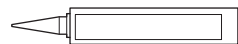
パッケージ形態	ホルダ
カートリッジ式	300 ml ホルダ (標準付属)
	(根太) 800 ml ホルダ (別売部品)
ソーセージ型	600 ml ホルダ (別売部品)
吸込式 (ペール缶)	

⚠️ 注意

- 使用前に、材料のパッケージに記載されてる内容も併せて確認いただき、正しい使用方法で作業をしてください。
- ノズルの切断断面の内径は、3 mm 以上にしてください。材料がピストン側で漏れたり、カートリッジが破損する恐れがあります。

カートリッジ式

P.13「作業する」を確認してください。

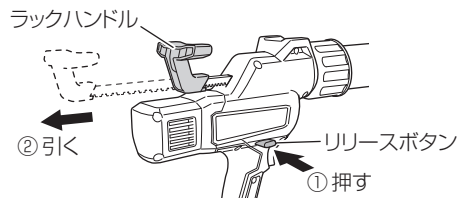


ソーセージ型

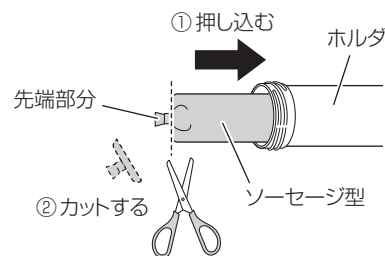
600 ml ホルダを使用します。ピストンは、ソーセージ型用ピストンを使用してください。



- 1 リリースボタンを押しロックを解除して、ラックハンドルを最大まで引きます。

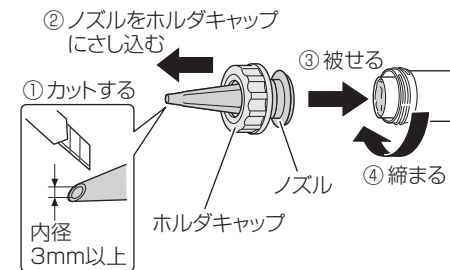


- 2 材料のパッケージをホルダに押し込み、先端部分の閉じ口をカットします。



- 3 用途に応じて、ノズルの先端を内径 3 mm 以上にカットしてください。

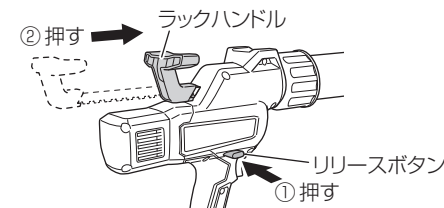
- 4 ノズルを付けたホルダキャップを被せ、しっかり取付けます。



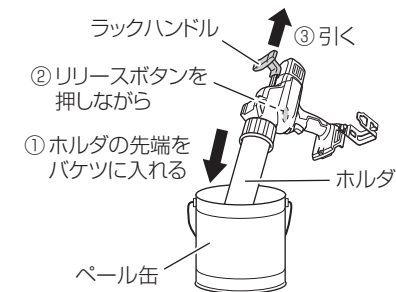
吸込式

600 ml ホルダを使用します。ピストンは吸込式用ピストンを使用してください。

- 1 リリースボタンを押して、ラックハンドルを突き当たるまで押します。

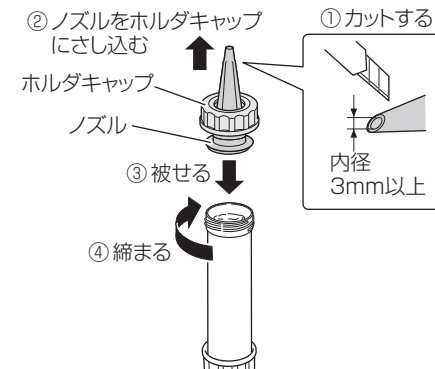


- 2 ホルダの先端を、シーリング材が入ったペール缶に入れ、ラックハンドルを引いてホルダに材料を吸い上げます。



- 3 ノズルの先端を内径 3 mm 以上にカットしてください。

- 4 ホルダの縁周り付いたシーリング材を軽くふき、ノズルを付けたホルダキャップを被せ、しっかり取付けます。



保守・点検

●機体の点検

各部部品の取付けに、ガタつきやゆるみがないか定期的に点検してください。ゆるんだまま使用すると、けがなど事故の原因になります。異常がある場合は、お買い求めの販売店に相談してください。

●モーターの取扱いについて

モーター（内蔵）（P.8「各部の名称」参照）に、油や水が浸入しないよう十分に注意してください。

●端子部の点検

工具本体や蓄電池の端子部に切りくず、ほこりがたまっていないか点検してください。作業前、作業後のほかに作業中でも時々点検してください。

●清掃する

機体が汚れたときは、石けん水に浸した布をよく絞ってからふいてください。ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油類はプラスチックを溶かす作用があるので使用しないでください。

●機体や付属品の保管

下記のような場所は避け、温度が50℃未満で乾燥した安全な場所に保管してください。

- 注**
- お子様の手が届く場所、持ち出せる場所
 - 軒先など雨が掛かる場所、湿気のある場所
 - 温度が急変する場所、直射日光の当たる場所
 - 引火や爆発の恐れがある揮発性物質の置いてある場所

●リチウムイオン電池の輸送について

リチウムイオン電池を輸送する場合、次の点に注意してください。

警告

輸送会社にリチウムイオン電池を含む荷物であること、および電力量を伝えて、輸送会社の指示に基づいた手続きを行ってください。

- 電力量が100 Whを超えるリチウムイオン電池の場合は、輸送貨物の分類上、危険物扱いとなり、特別な申請等が必要になります。
- 海外へ輸送する場合、国際法令および輸送先国の規制に従う必要があります。

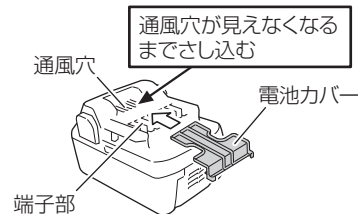


●リチウムイオン電池の保管について

警告

リチウムイオン電池の端子部に導電性のある異物が入り込むと、短絡（ショート）して発熱・発煙・発火する恐れがありますので、保管するときは、以下の内容を守ってください。

- 収納ケースに導電性のある切りくずや釘、針金や銅線などの線材を入れないでください。
- 短絡（ショート）するのを防ぐため、蓄電池は工具本体にさし込むか、電池カバーを取付けて保管してください。



- 注** リチウムイオン電池を保管するときは、半分程度の容量で保管してください。蓄電池の残量が少ない状態で長期間（3か月以上）保管すると蓄電池が劣化し、使用時間が著しく短くなる、または充電できなくなる恐れがあります。充電と使用を繰り返しても使用時間が極端に短い場合は、蓄電池の寿命とご判断いただき、新しい蓄電池をお買い求めください。

メ モ

メ モ